

心肺蘇生法を体験して



射水市立小杉南中学校 2 学年

射水市医師会の医師や看護師、射水消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え、心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を、実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。実施後の感想を紹介します。



今日の講習を終えて、もしも誰かが倒れていたら、自分が助けるのだという意識をもてました。1分1秒でも早く助けるという気持ちと、命を大切にすることが大切だと思いました。また、大声を出して周囲の助けを呼ぶといった、周りの人を頼りにすることが大切だということも知りました。もしもの時は、救急車が来るまで、今日教えてもらったことをがんばりたいです。
(1組 男子)

講師の方がとてもやさしく教えてくださり、胸骨圧迫や人工呼吸のやり方がとてもよく分かりました。胸骨圧迫を実際に行ってみると、とても疲れました。たった、30回ただけでも息切れしてしまいました。また、人工呼吸は、全然息が入らず苦労しました。AEDの使い方は難しく、他の人が胸骨圧迫をしている時に素早く指示通りに行わなければならないのが大変でした。とても疲れたけれど、自分のためになったと思います。
(1組 男子)

心肺蘇生法を、今までやったことが一度も無かったので、最初は少しとまどいました。自分の周りで人が倒れることなど、滅多にないと思っていただけで、もし本当にそのようなことが起きたら、真剣に行動しないと命が失われてしまうということを学びました。心肺蘇生法を学ぶことができてよかったです。
(1組 女子)

救命処置の流れと手順をしっかり学ぶことができました。もしも、周りの人の心臓や呼吸が止まってしまっても、今日習ったことをすれば命が助かるかもしれません。もし、実際に心肺蘇生法をしなければならぬ時がきたら、習ったことを思い出し、あせらず積極的に手当てをしたいと思います。
(1組 女子)



人の命を助ける方法である、心肺蘇生法を学ぶことができました。AEDの使い方や、心肺蘇生法の手順を知ることができました。もしも自分の身近な人が倒れたりした時には、この講習を思い出して助けたいと思いました。

心肺蘇生法講習の未経験の人や、AEDの使い方を知らない人も多くいると思うので、私は、今日の知識をしっかり覚えておきたいと思いました。
(1組 女子)

射水市では、救急車が来るまでの時間が6分ほどと聞きました。その6分間で何をするかで、人の命を助けられるかどうかが違うのだと知りました。

もしも、倒れている人を見つけたら、率先して今日習ったことを生かしたいです。

こういう人を助ける技術をたくさん身に付けて、人の役に立ちたいと思いました。とてもよい体験でした。
(2組 男子)



ぼくは、今までテレビでしか心肺蘇生法を見たことがありませんでした。今日の講習会のおかげで、心肺蘇生法について理解することができました。人命救助は、時間がたてばたつほど生存率は低くなると聞いたことがあります。今後、自分の周りで心肺蘇生法が必要になった時には、今日教えていただいたことを思い出し、積極的に素早く行動したいです。家に帰ってから、もう一度復習し、家族と確認したいと思います。(2組 男子)

私は心肺蘇生法の実技をするのは初めてでした。今までは大人がしてくれるから関係ないと思っていたけれど、いつ、どんなときに人が倒れるかは分からないので大切な体験ができてよかったです。私は救急車が来るまでの間に大切なことが2つあると感じました。1つ目は、大きな声で助けを呼ぶことです。もう1つは落ち着くことです。突然思いもよらないことが起こると動揺すると思うけど、落ち着かないと正しい処置ができなくなると思います。もしも、人が倒れていたら、助けられるようになりたいです。(2組 女子)

テレビなどを見ていると、ただ手を当てて押しているだけのようで簡単そうだと思っていたけれど、手を組んで助ける人の胸の中心部を一定のリズムでマッサージするのは難しかったです。人工呼吸は、あごを少し上にして、空気の通り道をまっすぐにし、鼻をしっかりつまむなど、大事なポイントがたくさんありました。今回学んだことを生かす時がきたら、積極的に動いてできることをしようと思いました。(2組 女子)

今まで知らなかった人工呼吸やAEDの使い方などを知ることができてよかったです。胸骨圧迫では、手の位置や押す強さが難しいなと思いました。心肺蘇生法やAEDの処置を早くしないと命に関わったり、後遺症が残ったりするのだと聞き、今日習ったことはとても大切なことだと思いました。(2組 女子)

元気に過ごしている時にも、心肺蘇生法が必要なことがいつ起こるか分からないと聞き、ぼくにも心肺蘇生法を使う機会があるかもしれないのだと知りました。ぼくは緊張すると声がしっかり出せないので、いざというとき、声をしっかり出せるか心配です。でも、もしものときは、今回の講習で学んだことを思い出してしっかりやりたいと思います。(3組 男子)

ぼくは人が倒れているのを見たことがあります。しかし、その時は何もできず立ちつくすだけでした。目の前で人が倒れているのを見て何もできないのは嫌です。今日の講習会を終えて、もしまたそのようなことがあったら、しっかりと協力できたらいいなと思いました。(3組 男子)

ぼくは、「14歳の挑戦」で射水市消防本部へ行きました。今日はその時の復習をしました。久しぶりにすると少し順番を忘れていました。今日習ったことを忘れないようにしたいです。実際に人が倒れていたら、恐れずに実践できるようにしたいです。他の人に任せるのではなく、自分の精一杯を尽くして、人の命を守れるようになりたいです。(3組 男子)

初めて心肺蘇生法をやってみて、本当に大変だなと思いました。今日は大きな声を出すことができなかったけど、もしも自分の目の前に倒れている人がいたら、積極的に行動して助けられたらいいなと思います。難しいことも大変なことも、いろいろあったけど、人の命を助ける大事なことを学べてよかったです。(3組 女子)

初めて心臓マッサージをしてみて、思ったよりも体力を使うので驚きました。緊急事態の時はあわててしまうかもしれないけれど、一度深呼吸してから、今日教えてもらったことを思い出し、積極的に行動して命を救えたらいいなと思います。(3組 女子)

どの班も、講師の方の話をしっかりと聞き、積極的に実習に取り組んでいました。もしもの時には、今日の学びを生かして行動できるに違いないと、とても頼もしく感じました。